



メモや写真をとりながら説明を聞く参加者

源平合戦のロマンに迫る

御所遺跡現地説明会

金井戸にある御所遺跡の現地説明が6月2日に開かれ、約250人の考古学ファンが訪れました。

同遺跡は国府川改修工事に伴う発掘調査により、御所宮を中心とした一町（約100m）四方の大溝を巡らせた居館の存在が明らかになったもの。平安京や大宰府と同様に、儀式に使用した土器を大量に廃棄していることから、備中の政治的中心の国衙だったと考えられます。また、4月からの調査で焼けて赤茶色に変色した土や礎石が出土。同じ層から出土した土器の年代などから、12世紀後半の源平合戦のころに焼失した可能性が高いことがわかりました。訪れた人は熱心に説明を聞き、源平合戦へのロマンをはせていました。

自分の手で映画を作る

HEAVEN子ども映画ワークショップ

総社でオールロケをした映画「HEAVEN」のスタッフが、子どもにもものづくりと表現することの楽しさを知ってもらおうと6月9日、池田小学校で「子ども映画ワークショップ」を開催。小学生10人が実際の映画作成に携わる、カメラマン、音声、照明といったスタッフや、俳優、監督といっしょに脚本から撮影、演技など、本格的な映画作成に挑戦し、約5分の映画を作りました。



みんな共同で真剣に撮影



総社西中学校の秋山優季さん 写真左から総社中央小学校の丸山華奈さん、田村ほのかさん、山本未来さん

児童の救助活動がたたえられる

岡山県わかば賞

用水路へ転落した児童を助けようとしたことが評価され、総社西中学校1年秋山優季さんと総社中央小学校5年山本未来さん、田村ほのかさん、丸山華奈さんの4人が岡山県わかば賞を受賞しました。

ミニフォト

100歳 おめでとうございます



祝福される則本さん

6月1日に100歳の誕生日を迎えられた則本種代さん（宿）に県と市から記念品が贈られました。昔から大きな病気をしたこともなく、長寿の秘訣は「三度の食事をきちんと食べ、畑仕事でよく体を動かしてきたこと」だそうです。

わらべ地蔵を被災地へ



ていねいに地蔵を彫る参加者

被災した人の悲しみが少しでも和らぎ安らげるよう、わらべ地蔵を彫り、被災地へ届ける活動が5月27日、宝福寺で行われました。市内外から55人が参加。京仏師の指導のもと、気持ちを込めヒノキを彫り、地蔵に仕上げていました。

総社南高ダンス部3部門で全国へ



総社南高のヒップホップ部門

全国高等学校ダンスドリル選手権大会の中国・四国大会が6月3日、総社南高校で開かれました。中・四国から9校が参加。総社南高校は、プロップ、ヒップホップ（スモール）、ジャズの3部門で全国大会への出場が決まりました。

目指せ金メダルとエール

ロンドンオリンピック出場清水聡選手壮行式

ボクシング・バンタム級でロンドンオリンピックに出場する清水聡選手（総社市出身）の壮行式が6月9日に昭和中学校で行われ、清水選手の地元である昭和地区の住民や昭和中学校の全校生徒など約350人がエールを送りました。

同校の生徒や地域住民の手書きのメッセージ入り応援旗や地元幼稚園児が作った手旗、学童保育「あそびのきち おひさま」の児童の手作り金メダルなどが贈られ、清水選手は「ますますやる気が出てきた。金メダル目指してがんばります」と決意を述べました。



熱いメッセージのこもった応援旗を渡す



走る楽しさと食の大切さを伝える

走食系チルドレン育成プロジェクト

日清食品グループ主催の正しい走り方と食の知識を身につけた子どもを育成する「走食系チルドレン育成プロジェクト」が5月23日、総社東小学校で開かれ、同グループの陸上部所属でアテネオリンピック男子マラソン6位入賞の諏訪利成選手兼コーチが授業を行いました。

6年生2クラスの47人が参加。食育教室では、栄養バランスの良い食事の大切さを学び、ランニング教室ではサイドステップなどで手足の動きを合わせる運動や給水でペットボトルをつかむ体験をしました。



スムーズな給水の取り方に挑戦する子どもたち（写真上）。どうしたら速く走れるのかという質問に対し「運動、食事、休息をバランスよく継続し、体を丈夫にすることが大事」と答える諏訪選手兼コーチ（写真左）

家族で昔遊びを体験



ゴム鉄砲と竹の弓矢に夢中

第3日曜日のそうじゃ家族の日に家族の絆を深めてもらおうと「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会が「家族であそび」を5月20日、常盤公園で開催。こまやメンコなどの昔遊びを約60人の親子は楽しんでいました。

ヒゴ池湿地の自然を調べる



虫や植物を見てメモをとる児童

北の吉備路保全協会は6月から1年3か月かけ、ヒゴ池湿地の環境調査を行います。6月5日には、同湿地の保全活動に協力している総社北小学校の6年生50人がハッチョウトンボなど動植物の観察に取り組みしました。

災害に備えた実践訓練



迅速に土のうを積み消防団員

水防訓練を5月27日、そうじゃ水辺の楽校で開催。消防団員や消防職員など約300人が、今年の台風12号の教訓からタイムトライアル式の積み土のうや、河川に転落した人がいると想定した救助訓練など、実践に近い訓練をしました。